

国語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

[知識及び技能]

既習の常用漢字に加え、その他の常用漢字を読むことや学年別配当漢字配当表に示されている漢字を文や文章の中で適切に使える力

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 文章における読解力・表現力の向上を図るためには、漢字の知識が必須であるが、その技能向上に関しては、漢字の読み書きでは足りず、漢字の意味もしっかりと習得しなければならない。また、文章表現の前提となる字を正確に綺麗に書くことも大切であるため、硬筆にも力を入れ、向上を図っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書き写し読書」を朝読書の時間に継続して行うこと、硬筆の時間を使い、綺麗に漢字を書くことで、漢字にふれあい漢字と触れ合う機会を作る。 漢字レッスンを用いて、漢字の読み書き、漢字の意味を習得し、読解力、表現力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝 家庭学習、授業時開始5分 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 毎週実施している漢字テストで、合格点（30点中24点以上）に達しない生徒が13%（12名）いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習として漢字学習を行わせ、授業の最初5分間で漢字確認テストを行う。 週1回の漢字テストを継続的に行い、合格点に達しない生徒に対して、補習学習会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間 週1回 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（一昨年度実施）において、知識・理解（言語）の正答率が65.1%だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習として漢字学習を行わせ、授業内で確認テスト、漢字テストを実施する。 「書き写し読書」を朝読書の時間に継続して行い、漢字に慣れ親しむ機会の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間 毎朝 	

■主体的・対話的で深い学びに関連して

- 1年 家庭・授業において、主体的に漢字学習に臨む態度を育てる。
- 2年 家庭・授業において、主体的に漢字学習に臨む態度を育てる。
- 3年 家庭・授業において、主体的に漢字学習に臨む態度を育てる。

■一人一台コンピュータの活用に関連して

- 1年 G I G A 端末を用いて意見の共有を図る。
- 2年 G I G A 端末を用いて意見の共有を図る。
- 3年 G I G A 端末を用いて意見の共有を図る。

